

2023（令和5）年度 福岡女子大学 外国人留学生選抜

〔 一般選抜試験問題 〕

国際教養学科

小論文

【 60 分 】

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題は4ページから6ページにあります。問題は全部で**1題**です。
- 3 解答用紙には裏面にも解答欄があります。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験開始と同時に解答用紙の**受験番号欄に受験番号を記入**してください。

問題 次の【文章 A】・【文章 B】は、同じ文章資料からの引用である。これらをまとめて読んだ上で、後の問全てに解答しなさい。

【文章 A】

何が〈ワガママ〉と感じられるかは、社会によってかなり違うということを認識しておきたい。例えばアメリカに行くと、(1)多くのアメリカ人のあまりの自己主張の激しさに閉口する人が多い。「私がこうしたい！」ということを言い張るのが当たり前で、言わなければ何も考えていないと見なされ、日本のように「口に出して言わなくても、何を考えているかを感じてくれる」社会が懐かしくなる。このように私たちから見ればかなりの〈ワガママ〉を言っても、〈ワガママ〉とは見なされない社会もある。しかしそうした社会でも、明らかに〈ワガママ〉ならば、強い調子で否定され拒否されるわけで、やはりそこには〈我がまま〉と〈ワガママ〉の差は存在しているわけだ。

そうした文化の差、社会の差を考慮に入れつつ考えたいが、この〈ワガママ〉を嫌う日本社会でもこのところ〈ワガママ〉としか思えない振る舞いが増えてきているのも事実だ。(2)電車の中での大声での携帯電話の使用はこのごろ若者よりも大人のほうを多く目にするようになった。商品へのクレームもあるところまでは消費者の当然の権利だし、製造者の改善のためにもなるが、偏執的なクレーマーとなると話は別だ。子どものことで一方的に教師を責め立てる親。幼稚園や小学校の運動会は、自分の子ども「だけ」をビデオに収めたい親の場所取り合戦になり、お互いに「お前が邪魔なんだよ」と怒号が飛ぶ。そしてインターネットの掲示板などで炸裂する傍若無人で攻撃的な発言など。どうしたらこんなに自己中心的に振る舞えるのかといぶかってしまうような場面に遭遇することが少なくない。

そうした状況でいつも感じるのは、「人の目」を気にしてきた日本人がいったん「人の目」を気にしなくなったとき、そこには自分自身の行動を律する何ものも存在していないのだろうかということだ。例えば、町中の道の上で座り込んでいる若者たちに聞くと、「通行人は単なる風景で、人だとは思っていないから」という答えが返ってく

る。「人の目」は気にするが、いったん「人」でないと考えてしまえば何でもできる。そうした〈ワガママ〉な行動は、「人の目」に縛られてきた社会の反動ではないかと思えるのだ。

数年前、私の教えている東工大で留学生向けの講義を受け持ったとき、「日本の大学のどこに一番違和感を感じたか？」と聞いたことがある。その答えにびっくりした。ひとりが「学生が授業中寝ていることです」と答えたところ、皆が「そうだ、そうだ」と大きくなずいたのである。(3)「どうして大学生が教室で寝ているんですか？それでも大学生ですか！」と言うのだ。

【文章 B】

ルース・ベネディクトは、「人の目」から非難される「恥」を強く意識する日本文化を「恥の文化」と呼んだ。しかし、彼女はもうひとつの「恥」を見落としていた。それは「私としたことがこんなことをしてしまうとは！」という、「自らを恥じる」という恥である。誰からも見られていなくても、恥じる。あるいは、「こんなことをしてしまって、ご先祖さまに申し訳ない」「亡き恩師の期待を裏切ってしまった」と、既に生きていない人に対して恥じる。日本人の倫理観は、単に自分の周囲の「人の目」だけではなく、先人たちや恩師たち、そして自分自身に対して恥ずかしいという感覚にも支えられていたのである。

しかし、そうした恥の感覚が薄れ、ベネディクトの言うように「人の目」のみを気にするように「恥の文化」が縮小してしまい、それ故「人の目」が気にならなくなれば何でもやってしまうというのが現在の日本人の姿なのではないか。そして、そこには決定的に欠けているものがある。それは自分自身に対する「自尊感情」だ。

(上田紀行『生きる意味』岩波新書 2005年より)

問1 下線部(1)「多くのアメリカ人のあまりの自己主張の激しさに閉口する人が多い」に関して、「あうん」と「以心伝心」という二つの言葉を用いながら、筆者が考えている日本のコミュニケーション文化の特質について説明しなさい。

問2 下線部(2)「電車の中での大声での携帯電話の使用はこのごろ若者よりも大人のほうを多く目にするようになった」に関し、若者と大人の振る舞いの違いについて本来どうなるはずであるのか、それなのになぜここではこのようになってしまっているのだろうか、日本社会でどのような変化が起こっているのだろうか。あなたの考えで説明しなさい。

問3 下線部(3)「どうして大学生が教室で寝ているんですか?」という留学生の質問に対して、この文章の筆者はどのような説明をするだろうか。寝ている学生の心の面と行動への反映に関する筆者の考えを文章から読み取り、「自尊」という言葉~~を交えて~~簡潔にまとめながら、想定される説明を示しなさい。

問4 あなたは、筆者の考える「ワガママ」や「恥」について、どういう考えを持つか。筆者が挙げていない具体的な例を自分で取り上げながら、あなたの考えの根拠を明確に示して、論述しなさい。

